

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7

8

# TravelXML 仕様書

9

- 本編 -

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

Ver1.4 (勧告)

24

2006/3/28

25

26

TravelXML 標準化部会

27

28

29

1 **本仕様書について**

2 この仕様書の配布および利用は下記利用条件を前提に原則自由です。

3 この仕様についての最新情報は、

4

5 <http://www.xmlconsortium.org/wg/TravelXML/>

6 <http://www.jata-net.or.jp/xml/index.htm>

7

8 で公開されていますので、こちらを併せて参照して下さい。

9

10 **利用条件について**

11 本書は、本書の内容及び表現が変更されないこと、および出典を明示いただくこと、  
12 バージョン名を表記することを前提に、無償でその全部または一部を複製、転記、引用  
13 して利用できます。なお、全体を複製された場合は、本書にある著作権表示および利用  
14 条件を明示してください。本書の著作権者は、本書の記載内容に関して、その正確性、  
15 商品性、利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、特許権、著作権、その  
16 他の権利を侵害していないことを保証するものでもありません。本書の利用により生じ  
17 た損害について、本書の著作権者は、法律上のいかなる責任も負いません。

18

19 なお、著作権表記は下記とします。

20 Copyright (c) XML コンソーシアム 2006 All rights reserved.

21 Copyright (c) 社団法人日本旅行業協会 2006 All rights reserved.

22

## 1 改訂履歴

| 日付         | Ver   | 改訂内容                                                                                                  | 改訂理由                                                                                                                           |
|------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2003/09/24 | 1.0   | 最初のバージョン                                                                                              |                                                                                                                                |
| 2003/11/28 | 1.1   | 下記2つについての記述を追加<br>国内企画商品取引<br>海外企画商品取引<br>付録 A に RelaxNG スキーマ追加                                       | 1.0 の時点で作成中だった内容を追加<br><br>広く利用されるようにするため                                                                                      |
| 2004/02/16 | 1.1.1 | 口座番号、予約番号など、金額や人数などと違い機械的な計算処理を前提としない項目の型を「Integer」から「String」に変更<br>付録 A 3 に実装上の注意を追加                 | 機械的な計算処理を前提としない項目の値の許容範囲を広げるため<br><br>実装上起こり得る問題を回避するため                                                                        |
| 2004/08/23 | 1.2   | 国内精算情報の追加<br>国内宿泊施設情報の追加<br>旅行会社情報の追加<br>仕様書の構成を変更                                                    | TravelXML 開発の第 2 フェーズとして範囲を拡大したため<br><br>取引の種類追加により仕様書の可読性が低下したため                                                              |
| 2004/11/30 | 1.2.1 | 日本語項目名の定義<br>一部項目の定義変更と追加                                                                             | 未定義だった項目があったため<br>応用技術部会での実証実験の成果をフィードバックするため                                                                                  |
| 2005/03/01 | 1.3   | 国内企画商品情報の追加<br>海外企画商品情報の追加<br>海外宿泊施設情報の追加<br>国内宿泊取引の XML Schema の更新<br>海外宿泊取引の項目定義の修正と XML Schema の追加 | TravelXML 開発の第 2 フェーズとして範囲を拡大したため<br><br>国内宿泊取引における仕様とサンプルの XML Schema との間で差異があったため<br>XML Schema を新たに作成し、それによって判明した不具合を修正したため |
| 2005/10/27 | 1.4   | 国内宿泊取引および海外宿泊取引の項目定義と XML Schema の更新<br>残り 8 取引の項目定義の修正と XML Schema の作成                               | 1.3 における定義の不整合と不具合の修正のため<br><br>XML Schema を新たに作成し、それによって判明した不具合を修正したため                                                        |
| 2006/03/28 | 1.4   | XML Schema の修正                                                                                        | 同じ Enumeration の記述を一箇所にまとめて記述するため                                                                                              |

1 **参加者**

2 この仕様書の作成に携わったメンバーは以下の通りです (50 音順)。

3  
4 江島 健太郎 - インフォテリア株式会社  
5 遠城 秀和 - 株式会社 NTT データ  
6 大柴 直人 - マップジャパン株式会社  
7 笹本 弘治 - 株式会社エルザ  
8 鈴木 潤一 - 日本オラクル株式会社  
9 中川 智史 - インフォテリア株式会社  
10 成瀬 慶純 - マップジャパン株式会社  
11 藤岡 慎弥 - 株式会社デジタルコミュニケーションズ  
12 藤本 博之 - 日本電気株式会社  
13 藤原 仁 - 株式会社 NTT データ  
14 村垣 委久夫 - 株式会社日立システムアンドサービス  
15 米澤 恵 - 株式会社日立製作所  
16 村田 真 (RELAX NG スキーマ提供)

17  
18 この仕様書のレビューに携わったメンバーは以下の通りです (50 音順)。

19  
20 井上 正則 - 日立 INS ソフトウェア株式会社  
21 内匠 康博 - 株式会社ジェー・アイ・イー・シー  
22 梅本 真義 - 株式会社メディアフュージョン  
23 大場 みち子 - 株式会社日立製作所  
24 大森 峰晴 - アディレクト株式会社  
25 小西 宏文 - 沖電気工業株式会社  
26 紺野 真史 - 日立 INS ソフトウェア株式会社  
27 佐々木 惣一 - 株式会社メディアフュージョン  
28 下川 和男 - イースト株式会社  
29 下地 寛武 - アディレクト株式会社  
30 鈴木 潤一 - 日本オラクル株式会社  
31 鈴木 俊宏 - 日本オラクル株式会社  
32 谷村 育子 - 株式会社メディアフュージョン  
33 田原 春美 - 日本アイ・ビー・エム株式会社  
34 津田 勝晴 - アディレクト株式会社  
35 寺田 - アディレクト株式会社  
36 西野 陽一郎 - 日本電気株式会社  
37 長谷川 祐記 - 株式会社ジェー・アイ・イー・シー  
38 原田 球恵 - アディレクト株式会社  
39 藤原 隆弘 - イースト株式会社  
40 松下 嘉哉 - 富士通株式会社

- 1 松田 耕一 - 日立 INS ソフトウェア株式会社
- 2 松村 市子 - アディレクト株式会社
- 3 松本 賢一 - 富士通株式会社
- 4 山村 貴 - 株式会社ジェー・アイ・イー・シー

5

6 この仕様書の要素定義作成に携わったメンバーは以下の通りです。

7

- 8 佐藤 正史 - 株式会社ジェイティービー
- 9 山田 善継 - 株式会社パシフィックツアーシステムズ
- 10 梅澤 賢一 - 株式会社ジャルパック
- 11 山本 尚史 - 株式会社エヌオーイー
- 12 丹合 光夫 - 東急観光株式会社
- 13 瓜生 修一 - 近畿日本ツーリスト株式会社
- 14 太田 雅之 - 株式会社日本旅行
- 15 竹内 栄二 - 株式会社キースエンタープライズ
- 16 大野 輝雄 - スカイゲート株式会社
- 17 吉澤 彰夫 - ANA セールス&ツアーズ株式会社
- 18 大山 寛 - 株式会社阪急交通社
- 19 久保寺 繁 - 株式会社ジェイティービー
- 20 草野 裕憲 - マップジャパン株式会社
- 21 成瀬 慶純 - マップジャパン株式会社
- 22 金島 力也 - マップジャパン株式会社
- 23 佐藤 進 - 社団法人日本旅行業協会
- 24 杉原 賢二 - 社団法人日本旅行業協会

# 目次

|    |       |                                     |
|----|-------|-------------------------------------|
| 1  |       |                                     |
| 2  | 1     | 目的.....7                            |
| 3  | 2     | TravelXML の構成 .....8                |
| 4  | 2.1   | 本仕様の範囲.....8                        |
| 5  | 2.2   | 仕様書の構成.....18                       |
| 6  |       | 付録 A (参考) TravelXML の送受信について.....19 |
| 7  | 1     | Web サービス方式 .....20                  |
| 8  | 1.1   | 適用想定範囲.....20                       |
| 9  | 1.2   | 通信処理の形態.....20                      |
| 10 | 1.3   | 通信階層で使用する規格.....21                  |
| 11 | 1.4   | 準拠する規格 (必須) .....21                 |
| 12 | 1.5   | 準拠する規格 (選択) .....21                 |
| 13 | 1.6   | メリットとデメリット.....21                   |
| 14 | 2     | メール送受信(添付)方式 .....22                |
| 15 | 2.1   | 適用想定範囲.....22                       |
| 16 | 2.2   | メール送受信方式の概要.....23                  |
| 17 | 2.3   | メール送受信方式のバリエーション.....24             |
| 18 | 2.3.1 | SSL 対応電子メール方式.....25                |
| 19 | 2.3.2 | PKI によるメール暗号化方式 .....26             |
| 20 | 2.3.3 | パスワードロック ZIP ファイル添付方式.....27        |
| 21 |       |                                     |

# 1 目的

---

近年旅行業業界における電子商取引の標準化は、業界全体のシステム投資効率化のために必要不可欠なものとなっています。わが国においても、インターネットを利用した交通機関の座席予約システムや旅行代理店間の取引など、部分的個別には電子商取引が開始されており、今後の業界全体での電子商取引標準化への期待が高まっています。

現在、欧米ではOTA (Open Travel Alliance) において個人の個別予約を中心としたメッセージの標準化が進められています。しかしながら、わが国固有の商習慣である、交通機関・宿泊施設・各種サービスを組み合わせたパッケージ旅行商品の大規模な取引については、OTA では対応しておらず、OTA をそのまま利用することは難しい状況です。そのため、まず国内での旅行関係業界における電子商取引を促進すべく、従来各旅行会社で個別に定義されている旅行業 EDI のデータ項目を標準化し、国内外の宿泊施設、観光施設、交通機関、旅行業者などをリアルタイムで結び、業界全体のシステムの効率化による業務スピードの向上と、旅行者へのサービス向上を目的として日本独自の規格を制定することとし、将来的には制定した規格とOTAの規格との融合も模索することとします。

## 2 TravelXML の構成

### 2.1 本仕様の範囲

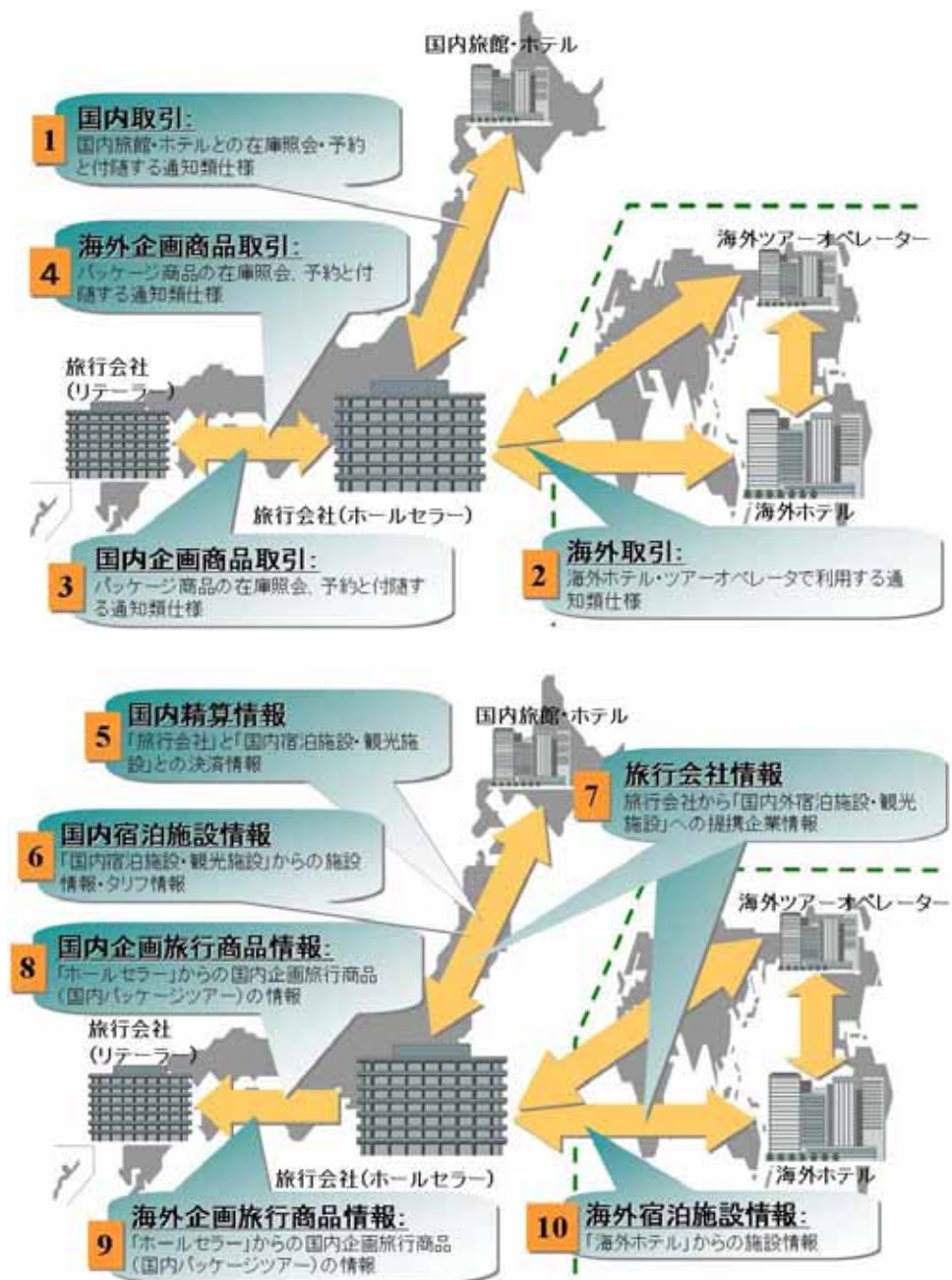


図 1 本仕様の範囲



1 本仕様では、下記の 10 種類の取引におけるメッセージを定めています。

2 (1) 国内旅館・ホテルとの在庫照会・予約と付随する通知類仕様である「国内取引データ」

3 (2) 海外ホテル・ツアーオペレータとで利用する在庫照会・予約と付随する通知類仕様である  
4 「海外取引データ」

5 (3) 国内のパッケージ商品の在庫照会、予約と付随する通知類仕様である「国内企画商品取引  
6 データ」

7 (4) 海外のパッケージ商品の在庫照会、予約と付随する通知類仕様である「海外企画商品取引  
8 データ」

9 (5) 国内旅館・ホテルとの宿泊料金の決済情報の通知類仕様である「国内精算情報」

10 (6) 国内宿泊施設の施設情報およびタリフ情報の通知類仕様である「国内宿泊施設情報」

11 (7) 旅行会社が国内、海外のサプライヤーに送る企業情報の通知類仕様である「旅行会社情報」

12 (8) 国内のパッケージ商品情報の通知類仕様である「国内企画旅行商品情報」

13 (9) 海外のパッケージ商品情報の通知類仕様である「海外企画旅行商品情報」

14 (10) 海外ホテルにおける自館の設備一般に関する情報の通知類仕様である「海外宿泊施設情報」

15

16 国内取引データのメッセージ一覧を表 1 に、海外取引データのメッセージ一覧を表 2  
17 に、国内企画商品取引データのメッセージ一覧を表 3 に、海外企画商品取引データを表  
18 4、国内精算情報のメッセージ一覧を表 5 に、国内宿泊施設情報のメッセージ一覧を表 6  
19 に、旅行会社情報のメッセージ一覧を表 7 に示す。国内企画旅行商品情報のメッセージ  
20 一覧を表 8 に示す。海外企画旅行商品情報のメッセージ一覧を表 9 に示す。海外宿泊  
21 施設情報のメッセージ一覧を表 10 に示す。

22

表 1 国内取引データ メッセージ一覧

|                           |                                                                              |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 在庫からの予約通知連絡(予約通知・変更・取消)   | 仕入在庫機能を利用している旅行会社が「予約通知」を送付する際に利用する。また、在庫を持たず電話などで OK を取ったものに対しての報告用にも利用する。  |
| 在庫からの予約通知受取確認(予約通知・変更・取消) | を受けた宿泊機関が、受信確認を行う。( を返すか否かは任意)                                               |
| 在庫使用報告依頼                  | 宿泊機関が旅行会社に対して提供している宿泊在庫の使用状況(販売状況)について問い合わせを行う。                              |
| 在庫使用回答                    | に対して旅行会社が報告回答を行う。または がなくても定期的に報告を行うのに利用する。                                   |
| 在庫増室要求                    | 宿泊機関/旅行会社が双方に対して増室の依頼をするときに利用する。                                             |
| 在庫増室回答                    | に対して行う回答で利用する。                                                               |
| 在庫減室要求                    | 宿泊機関が旅行会社に対して減室の依頼をするときに利用する。                                                |
| 在庫減室回答                    | に対して行う回答で利用する。                                                               |
|                           | * から は現行の TL/コンパス/テレビュータの間でやっている処理をもとにしている。TL/コンパス/テレビュータ向けの XML 化はこちらを利用する。 |
| 空室照会                      | 仕入在庫機能を利用せずに、旅行会社と提携販売代理店が国内宿泊企画に対して、空室状況の問い合わせを行う。                          |
| 空室照会回答                    | 上記に対して宿泊機関が回答を行う場合に利用する。                                                     |
| リクエスト通知(予約・変更・取消)         | 仕入在庫機能を利用せずに、旅行会社と提携販売代理店が国内宿泊機関に対して、予約、変更、取消などを行う時に利用する。                    |
| リクエスト通知への回答               | 上記に対して宿泊機関が回答を行う場合に利用する。                                                     |
| フリーメッセージ                  | 旅行会社と提携販売代理店が国内宿泊機関に対して自由にメッセージをやりとりするときに利用する。                               |

表 2 海外取引データ メッセージ一覧

|                                                     |                                                                                   |
|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Rooming List And Booking Request<br>(予約&ルーミングリスト送付) | 旅行会社がツアーオペレータ・ホテルに対して、ツアーオペレータがホテルに対して、主にルーミングリストの送付を行う。他に新規予約、取消、変更、その他の連絡に利用する。 |
| Booking Reply(予約回答)                                 | 上記に対してツアーオペレータが旅行会社に対して、ホテルがツアーオペレータ・旅行会社に対して回答を行う。                               |
| Block Report (ブロック使用報告)                             | 旅行会社がツアーオペレータ・ホテルに対して、ツアーオペレータがホテルに対して、仕入している客室の使用状況(販売状況報告)を行うときに利用する。           |
| Block Reply (ブロック使用報告に対する回答)                        | 上記に対するホテルからの回答。                                                                   |
| Room Availability Inquiry (空室照会)                    | 旅行会社がツアーオペレータ・ホテルに対して、ツアーオペレータがホテルに対して行う空室状況照会。                                   |
| Room Availability Reply<br>(空室照会に対する回答)             | 上記に対するツアーオペレータ・ホテルからの回答。                                                          |
| Flight Data(フライト情報送付)                               | 旅行会社がツアーオペレータに対して行うツアーのフライト情報提供。                                                  |

表 3 国内企画商品取引データ メッセージ一覧

|              |                                                            |
|--------------|------------------------------------------------------------|
| 予約可否照会       | 各種照会機能のうち、実際に予約できる内容をセットして、予約の可否を照会する機能                    |
| 予約可否照会に対する回答 | 上記に対する回答                                                   |
| 予約要求         | パッケージ商品を予約するための条件をすべて満たしての予約要求                             |
| 予約要求に対する回答   | 上記に対する回答                                                   |
| 予約内容照会       | 実際に予約がされているもの(WLの場合も含む)の、その内容の詳細要求する機能                     |
| 予約内容照会に対する回答 | 上記に対する回答                                                   |
| 変更連絡         | すでに予約がされているものに対して、その変更をする要求データ。内容の変更だけでなく、一部人数追加、一部人数取消を含む |
| 変更連絡に対する回答   | 上記に対する回答                                                   |
| 取消連絡         | すでによやくされているものに対して、その全面的取消しを要求するデータ。                        |
| 取消連絡に対する回答   | 上記に対する回答                                                   |
| 販売状況データ      | 毎日、あるいは週に1回、予約・変更・取消をされたそのログデータ。マーケティング機能として利用することが目的      |
| 精算・決済データ     | 月1回、または2回、ホールセラーとリテラーが精算・決済をするためのデータ                       |
| 取消料データ       | 上記のうち、取消料が対象になっているデータ                                      |

表 4 海外企画商品取引データ メッセージ一覧

|               |                                                            |
|---------------|------------------------------------------------------------|
| 予約可否照会        | 各種照会機能のうち、実際に予約できる内容をセットして、予約の可否を照会する機能                    |
| 予約可否照会に対する回答  | 上記に対する回答                                                   |
| 予約要求          | パッケージ商品を予約するための条件をすべて満たしての予約要求                             |
| 予約要求に対する回答    | 上記に対する回答                                                   |
| お客様氏名報告       | 予約をしたデータに対して、全員分の氏名、あるいはその他のデータを提供する機能                     |
| お客様氏名報告に対する回答 | 上記に対する回答                                                   |
| 予約内容照会        | 実際に予約がされているもの(WLの場合も含む)の、その内容の詳細要求する機能                     |
| 予約内容照会に対する回答  | 上記に対する回答                                                   |
| 変更連絡          | すでに予約がされているものに対して、その変更をする要求データ。内容の変更だけでなく、一部人数追加、一部人数取消を含む |
| 変更連絡に対する回答    | 上記に対する回答                                                   |
| 取消連絡          | すでによやくされているものに対して、その全面的取消しを要求するデータ。                        |
| 取消連絡に対する回答    | 上記に対する回答                                                   |
| 販売状況データ       | 毎日、あるいは週に1回、予約・変更・取消をされたそのログデータ。マーケティング機能として利用することが目的      |
| 精算・決済データ      | 月1回、または2回、ホールセラーとリテラーが精算・決済をするためのデータ                       |
| 取消料データ        | 上記のうち、取消料が対象になっているデータ                                      |

表 5 国内精算情報メッセージ一覧

|   |                |                                                      |
|---|----------------|------------------------------------------------------|
| 1 | 宿泊料金請求額報告      | ・着札精算で宿泊施設が受け取った宿泊クーポンを金融機関に請求をする場合に利用               |
| 2 | 宿泊料金支払額報告      | ・発売精算で旅行会社が自社で発売したクーポンをもとに宿泊施設にたいして支払いをする場合に利用       |
| 3 | 発売精算不泊報告       | ・宿泊施設が不泊となったお客様の情報を旅行会社に報告をするときに利用                   |
| 4 | 現地払型宿泊料手数料請求報告 | ・お客様の現地宿泊施設への直接支払い型の場合に、旅行会社から宿泊施設にたいして手数料請求をするときに利用 |

表 6 国内宿泊施設情報メッセージ一覧

|   |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 国内宿泊施設 基本情報                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設が自館の設備一般について情報を提供する場合に利用</li> <li>・客室に関する料金情報はここには含まない</li> <li>・客室料金については「公示料金」と「特定旅行会社用タリフ情報」に区分する</li> </ul>                                                                                                                                                                  |
| 2 | 国内宿泊施設 公示料金情報<br>- 日毎登録型 (旅館タイプ)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設 (旅館タイプ) が主に旅行会社、あるいはそれ以外の企業に対して自施設の公示料金を提供する場合に利用</li> <li>・宿泊施設 (旅館タイプ) が 4 を含めて提供するか否かは旅行会社との契約による</li> <li>・料金を日毎に登録する場合に利用 (シーズンリティ、曜日組み合わせを利用しないためわかりやすい)</li> </ul>                                                                                                       |
| 3 | 国内宿泊施設 公示料金情報<br>- シーズンリティ登録型 (旅館タイプ)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設 (旅館タイプ) が主に旅行会社、あるいはそれ以外の企業に対して自施設の公示料金を提供する場合に利用</li> <li>・宿泊施設 (旅館タイプ) が 4 を含めて提供するか否かは旅行会社との契約による</li> <li>・料金をシーズンリティで登録する。料金タイプが少ない場合には利用しやすい)</li> </ul>                                                                                                                  |
| 4 | 国内宿泊施設 公示料金情報<br>- 日毎登録型 (ホテルタイプ)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設 (ホテルタイプ) が主に旅行会社、あるいはそれ以外の企業に対して自施設の公示料金を提供する</li> <li>・宿泊施設 (ホテルタイプ) が 5 を含めて提供するか否かは旅行会社との契約による</li> <li>・料金を日毎に登録する場合に利用 (シーズンリティ、曜日組み合わせを利用しないためわかりやすい)</li> </ul>                                                                                                          |
| 5 | 国内宿泊施設 公示料金情報<br>- シーズンリティ登録型 (ホテルタイプ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設 (ホテルタイプ) が主に旅行会社、あるいはそれ以外の企業に対して自施設の公示料金を提供する</li> <li>・宿泊施設 (ホテルタイプ) が 5 を含めて提供するか否かは旅行会社との契約による</li> <li>・料金をシーズンリティで登録する。料金タイプが少ない場合には利用しやすい)</li> </ul>                                                                                                                     |
| 6 | 国内宿泊施設 特定旅行会社用タリフ情報<br>- 日毎登録型 (旅館タイプ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設 (旅館タイプ) が特定の旅行会社に対して自施設の契約料金を提供する</li> <li>・宿泊施設 (旅館タイプ) が特定の旅行会社に対して自施設の販売在庫用客室情報を提供する (提供客室がない場合にはセットは不要)</li> <li>・宿泊施設 (旅館タイプ) が特定の旅行会社に対して自施設の契約料金客室の詳細サービス情報 (アメニティグッズなど) を提供する</li> <li>・旅行会社向け専用仕様</li> <li>・料金を日毎に登録する場合に利用 (シーズンリティ、曜日組み合わせを利用しないためわかりやすい)</li> </ul> |

|    |                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7  | 国内宿泊施設 特定旅行会社用タリフ情報<br>- シーズナリティ登録型(旅館タイプ)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設(旅館タイプ)が特定の旅行会社に対して自施設の契約料金を提供する</li> <li>・宿泊施設(旅館タイプ)が特定の旅行会社に対して自施設の販売在庫用客室情報を提供する(提供客室がない場合にはセットは不要)</li> <li>・宿泊施設(旅館タイプ)が特定の旅行会社に対して自施設の契約料金客室の詳細サービス情報(アメニティグッズなど)を提供する</li> <li>・旅行会社向け専用仕様</li> <li>・料金をシーズンリティで登録する。料金タイプが少ない場合には利用しやすい)</li> </ul>              |
| 8  | 国内宿泊施設 特定旅行会社用タリフ情報<br>- 日毎登録型(ホテルタイプ)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設(ホテルタイプ)が特定の旅行会社に対して自施設の契約料金を提供する</li> <li>・宿泊施設(ホテルタイプ)が特定の旅行会社に対して自施設の販売在庫用客室情報を提供する(提供客室がない場合にはセットは不要)</li> <li>・宿泊施設(ホテルタイプ)が特定の旅行会社に対して自施設の契約料金客室の詳細サービス情報(アメニティグッズなど)を提供する</li> <li>・旅行会社向け専用仕様</li> <li>・料金を日毎に登録する場合に利用(シーズンリティ。曜日組み合わせを利用しないためわかりやすい)</li> </ul> |
| 9  | 国内宿泊施設 特定旅行会社用タリフ情報<br>- シーズナリティ登録型(ホテルタイプ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設(ホテルタイプ)が特定の旅行会社に対して自施設の契約料金を提供する</li> <li>・宿泊施設(ホテルタイプ)が特定の旅行会社に対して自施設の販売在庫用客室情報を提供する(提供客室がない場合にはセットは不要)</li> <li>・宿泊施設(ホテルタイプ)が特定の旅行会社に対して自施設の契約料金客室の詳細サービス情報(アメニティグッズなど)を提供する</li> <li>・旅行会社向け専用仕様</li> <li>・料金をシーズンリティで登録する。料金タイプが少ない場合には利用しやすい)</li> </ul>           |
| 10 | 国内宿泊施設 画像動画情報                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設が主に旅行会社、あるいはそれ以外の企業に対して自施設の画像および動画情報を提供するために利用をする</li> </ul> <p>ここで提供する画像は旅行会社等がインターネット等で利用することを原則とし解像度の低いものとする。パンフレットなどで利用する場合には本情報を基に改めて写真IDを指定して高解像度写真・動画の提供依頼をする運用となる。</p>                                                                                            |



表 7 旅行会社情報メッセージ一覧

|   |              |                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 旅行会社基本情報 日本語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社が日本語にてサプライヤーに対して自社情報を提供する場合に利用</li> <li>・セットする情報は日本語を利用する(英文名称を除く)</li> <li>・この情報を提供する目的は、サプライヤーが目的にあった旅行会社を選択し、効率のより情報提供ができるようにするためのものである。</li> <li>・旅行会社からみてサプライヤー情報入手をより効果的にするための企業宣伝としての意味合いで利用する</li> </ul>         |
| 2 | 旅行会社基本情報 英語  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社が英語にてサプライヤーに対して自社情報を提供する場合に利用</li> <li>・セットする情報は英語を利用する(英字 single byte)</li> <li>・この情報を提供する目的は、主に海外サプライヤーが目的にあった旅行会社を選択し、効率のより情報提供ができるようにするためのものである。</li> <li>旅行会社からみてサプライヤー情報入手をより効果的にするための企業宣伝としての意味合いで利用する</li> </ul> |

表 8 国内企画旅行商品情報メッセージ一覧

|   |              |                                           |
|---|--------------|-------------------------------------------|
| 1 | 国内企画旅行商品販売情報 | 国内企画旅行商品(国内パッケージツアー)を比較検討できるようにするために利用する。 |
|---|--------------|-------------------------------------------|

表 9 海外企画旅行商品情報メッセージ一覧

|   |              |                                           |
|---|--------------|-------------------------------------------|
| 1 | 海外企画旅行商品販売情報 | 海外企画旅行商品(海外パッケージツアー)を比較検討できるようにするために利用する。 |
|---|--------------|-------------------------------------------|

表 10 海外宿泊施設情報メッセージ一覧

|   |          |                                                                                             |
|---|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 海外宿泊施設情報 | <p>日本国内以外(海外)にある宿泊施設(主にホテル)が日本の旅行会社に対して施設に関する情報を提供する場合に利用する。</p> <p>客室に関する料金情報はここには含まない</p> |
|---|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8

## 2.2 仕様書の構成

本仕様書では、仕様書を活用する場合の可読性を考慮して、各取引の種類ごとにドキュメントを分割している。仕様書の内容は、取引の種類ごとに独立しており、仕様書を活用する場合は、本書と必要な取引の種類のドキュメントを閲覧することにより活用が可能なことを目指して作成されている。

取引の種類と対応するドキュメントの名称およびバージョンを下記に示す。

|      |               |                              |        |
|------|---------------|------------------------------|--------|
| (1)  | 「国内取引データ」     | TravelXML 仕様書 - 国内取引データ編     | ver1.4 |
| (2)  | 「海外取引データ」     | TravelXML 仕様書 - 海外取引データ編     | ver1.4 |
| (3)  | 「国内企画商品取引データ」 | TravelXML 仕様書 - 国内企画商品取引データ編 | ver1.3 |
| (4)  | 「海外企画商品取引データ」 | TravelXML 仕様書 - 海外企画商品取引データ編 | ver1.3 |
| (5)  | 「国内精算情報」      | TravelXML 仕様書 - 国内精算情報編      | ver1.1 |
| (6)  | 「国内宿泊施設情報」    | TravelXML 仕様書 - 国内宿泊施設情報編    | ver1.1 |
| (7)  | 「旅行会社情報」      | TravelXML 仕様書 - 旅行会社情報編      | ver1.1 |
| (8)  | 「国内企画旅行商品情報」  | TravelXML 仕様書 - 国内企画旅行商品情報編  | ver1.1 |
| (9)  | 「海外企画旅行商品情報」  | TravelXML 仕様書 - 海外企画旅行商品情報編  | ver1.1 |
| (10) | 「海外宿泊施設情報」    | TravelXML 仕様書 - 海外宿泊施設情報編    | ver1.1 |

9

# 1 付録 A (参考) TravelXML の送受信について

---

## 2 目的

3 TravelXML を使用した情報の交換を採用するにあたって、方式を選定する際の参考情報および実装の  
4 事例を示すことを目的としている。

5 情報交換を採用する企業間において、本付録をベースに取引の手順および実装方法を当事者の実態に  
6 合わせて検討することが望ましい。

7

# 1 Web サービス方式

## 1.1 適用想定範囲

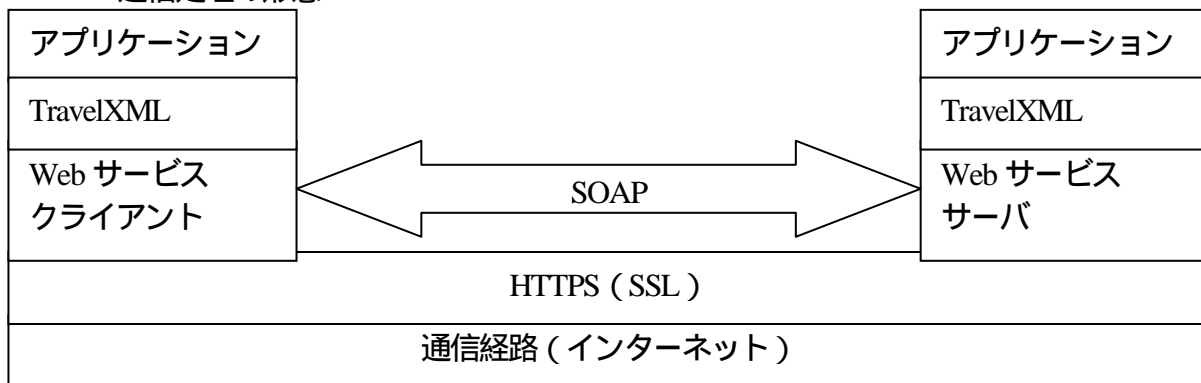
想定する取引：国内企画商品取引、国内宿泊取引

想定する範囲：旅行会社との取引に自力でサーバの設置、運用が可能な旅行代理店、宿泊施設でのメッセージ交換を想定している。

国内取引への適用を想定した実装案であるが、海外取引等への適用でも特に問題ない。



## 1.2 通信処理の形態



通信経路にインターネット環境を前提とした通信を行うため、通信内容の改竄、盗聴防止のために SSL を利用した HTTPS 通信を推奨する。

より高いセキュリティを確保するためには、アプリケーションレベルでの暗号化、認証、電子署名を使用することが可能である。その場合、証明書を取得するために認証局を用意するかまたは、例えばベリサイン等の商用認証局を利用する必要がある。

## 1.3 通信階層で使用する規格

| # | 通信層       | プロトコル       |
|---|-----------|-------------|
| 1 | インターネット層  | IP          |
| 2 | トランスポート層  | TCP         |
| 3 | アプリケーション層 | HTTPS (SSL) |
| 4 | メッセージ層    | SOAP        |

## 1.4 準拠する規格 (必須)

| # | 名称   | 規格       | 制定    |
|---|------|----------|-------|
| 1 | XML  | XML 1.0  | W3C   |
| 2 | SOAP | SOAP 1.1 | W3C   |
| 3 | WSDL | WSDL 1.1 | W3C   |
| 4 | UDDI | UDDI 2.0 | OASIS |

上記の規格を網羅し、相互運用性を高めるために規格の解釈等をより詳細に規定したガイドラインである WS-IBP を選択しても良い。

## 1.5 準拠する規格 (選択)

| # | 名称     | 規格                                   | 制定    |
|---|--------|--------------------------------------|-------|
| 1 | セキュリティ | WS-Security 1.0                      | OASIS |
| 2 | 暗号     | XML Encryption Syntax and Processing | W3C   |
| 3 | 署名     | XML-Signature Syntax and Processing  | W3C   |

## 1.6 メリットとデメリット

メリット：24時間リアルタイムな取引を大量に処理することが可能である。

他システムとの高度な業務連携が可能である。

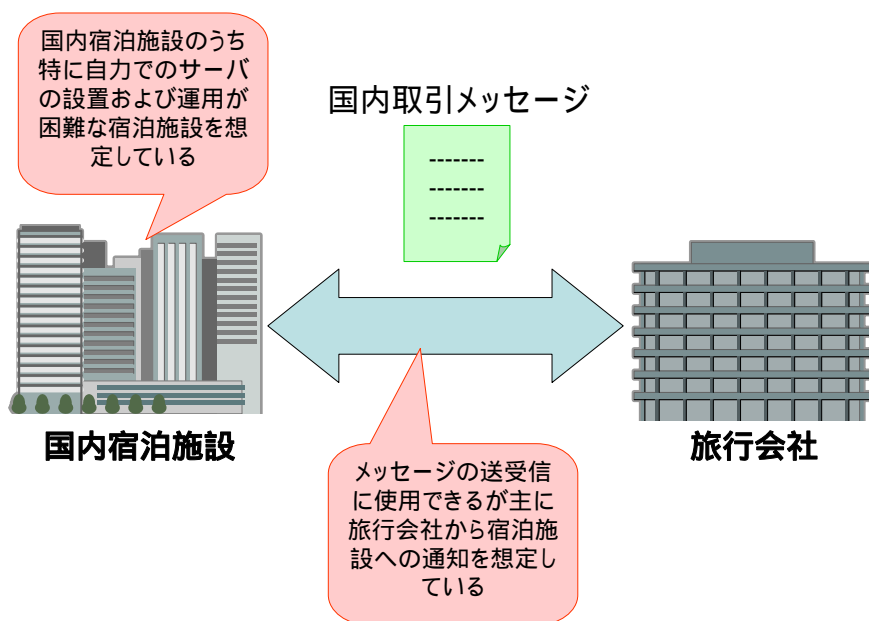
デメリット：初期投資額が大きい。

## 2 メール送受信(添付)方式

### 2.1 適用想定範囲

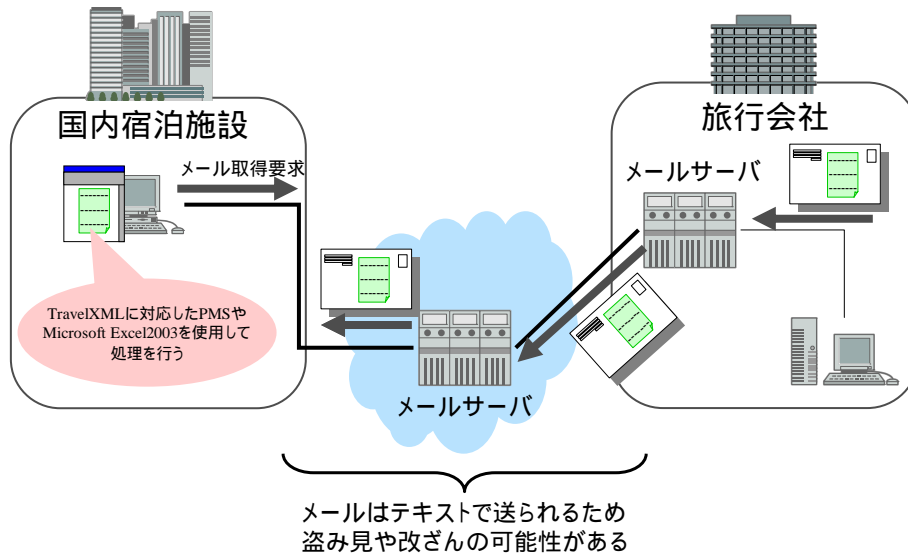
想定する取引：国内宿泊取引

想定する範囲：旅行会社と自力でサーバの設置、運用が困難な宿泊施設間でのメッセージ交換を想定している。



6

1 2.2 メール送受信方式の概要  
 2 メッセージをメールの添付ファイルとして送受信する方式  
 3



4  
 5  
 6 旅行会社は、作成した TravelXML のメッセージをメールに添付して送信する。  
 7 旅行会社のメールサーバは、メールに指定されたアドレスのメールサーバにメールを転送する。  
 8 国内宿泊施設は、メールサーバに対してメールの取得を要求する。  
 9 メールサーバは、宿泊施設に対して旅行会社から送られてきたメールを送る。  
 10 国内宿泊施設は、メールに添付された TravelXML のメッセージを保存し、TravelXML に対応した  
 11 PMS や Microsoft Excel 2003 を使用して、業務上の処理を行う。  
 12

|       |                                                                                             |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット  | ISP では回線接続とメールサービスがセットで提供されていることが多く、また、無料で提供されるメールサービス等も存在しているため、初期投資がほとんど必要なく、維持費用もかなり安く済む |
| デメリット | メール送信サービスの容量の制限や XML をハンドリングするアプリケーションとの受け渡し方法によっては、大量のメッセージの一括送受信には向かない。                   |

13  
 14 メールおよび添付ファイルは暗号化されずに流通するため、流通経路上で第3者にメールの内容の盗  
 15 み見や改変を行われる可能性がある。

1 2.3 メール送受信方式のバリエーション

2 メールにメッセージを添付して送受信する際に課題となる流通経路上でのメールの盗み見、  
3 改ざんに対する対策としてメール送受信方式を拡張したものを3つあげる。

4 2.3.1 SSL 対応電子メール方式

5 2.3.2 PKI によるメール暗号化方式

6 2.3.3 パスワードロック ZIP ファイル添付方式

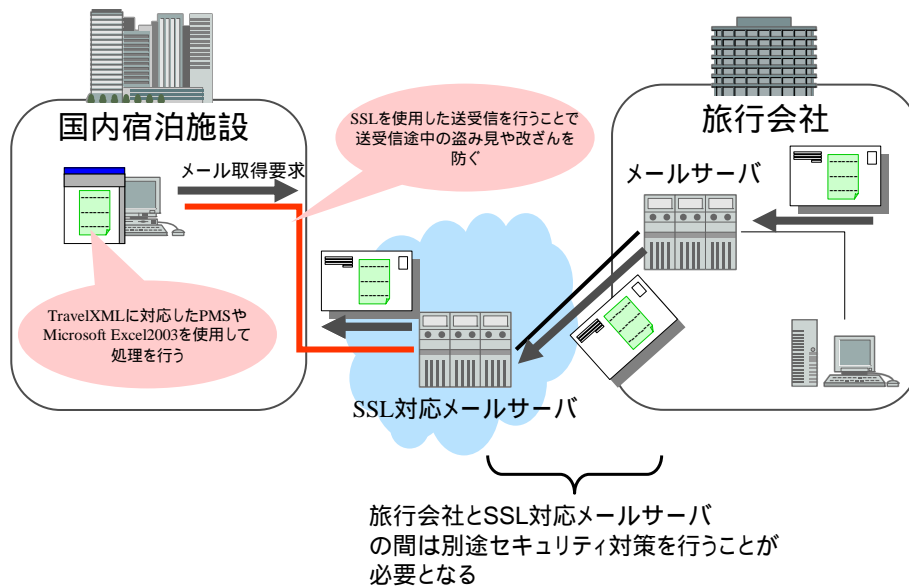
7

8



2.3.1 SSL 対応電子メール方式

メールの送受信に SSL を使用して送受信することにより、送信途中でのメールの盗み見や改ざんを防止する方式



~ までは、メール送受信方式との違いは無い。

国内宿泊施設は、メール取得要求を行う際に SSL を使用して通信の暗号化を行うことを SSL 対応メールサーバに通知する。

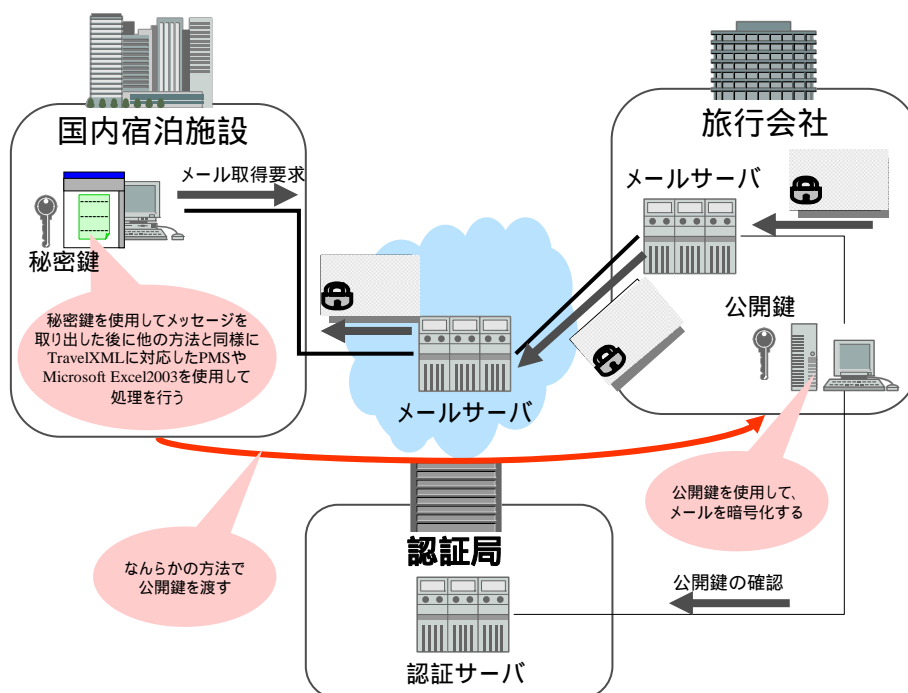
SSL 対応メールサーバは、旅行会社から送られてきたメールを国内宿泊施設に送信する際に、SSL を使用して通信を暗号化する。

メール送受信方式との違いはない。

|       |                                                                                                                                          |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般によく使用されるメールクライアントソフトウェアが対応しているため、追加のソフトウェアのインストール等が必要ない。</li> </ul>                           |
| デメリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>● SSL による送受信に対応したメールサービスを使用する必要がある。</li> <li>● メールクライアントソフトウェア上で、SSL を使用するための設定が必要となる。</li> </ul> |

1 2.3.2 PKIによるメール暗号化方式

2 PKI(公開鍵認証基盤)を使用してメールデータを暗号化し、送受信する方式



3

4

5 旅行会社は、公開鍵が正当なものであるかを認証局に確認する。

6 旅行会社は、公開鍵を使用して暗号化したメールを送信する。

7 旅行会社のメールサーバは、国内宿泊施設が使用しているメールサーバに暗号化されたメールを  
8 転送する。

9 国内宿泊施設は、メールサーバにメールの取得を要求する。

10 メールサーバは、国内宿泊施設に暗号化されたメールを送信する。

11 国内宿泊施設は、暗号化されたメールを自身の持つ秘密鍵を使用して復合化し、TravelXMLのメ  
12 ッッセージを保存する。保存したメッセージをTravelXMLに対応したPMSやMicrosoft Excel 2003  
13 を使用して、業務上の処理を行う。

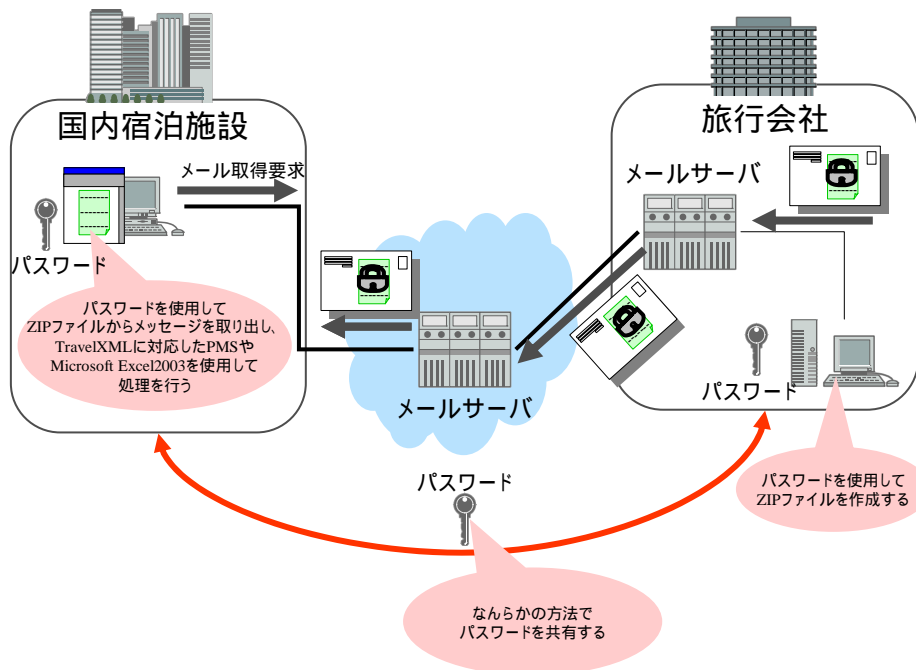
14

|       |                                                                                                                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般によく使用されるメールクライアントソフトウェアが対応しているため、追加のソフトウェアのインストール等が必要ない。</li> <li>● メールデータを暗号化するため、使用するメールサービスに依存しない。</li> </ul> |
| デメリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公開鍵の発行や管理に手間やお金が必要となる。</li> </ul>                                                                                  |

15

2.3.3 パスワードロック ZIP ファイル添付方式

メッセージをパスワードで保護した ZIP 形式に圧縮し、その圧縮したファイルをメールに添付して送受信を行う方式



旅行会社は、送付先の国内宿泊施設と共有しているパスワードを使用して、TravelXML のメッセージをアーカイブし、アーカイブしたものをメールに添付して送信する。

旅行会社のメールサーバは、国内宿泊施設が使用しているメールサーバにメールを転送する。

国内宿泊施設は、メールサーバにメールの取得を要求する。

メールサーバは、国内宿泊施設に送られてきたメールを送信する。

国内宿泊施設は、メールに添付されたデータを旅行会社と共有しているパスワードを使用して、TravelXML のメッセージに復元して保存し、TravelXML に対応した PMS や Microsoft Excel 2003 を使用して、業務上の処理を行う。

|       |                                                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット  | ● メールクライアントソフトウェア、メールサービスに依存しない。                                                        |
| デメリット | ● パスワードの受け渡しと管理を別途行う必要がある。<br>● 使用する環境によってはパスワードで保護した ZIP ファイルを扱うためのソフトウェアを別途用意する必要がある。 |